

客の脱マスクどうする、セブン・マックは「個人判断に」…従業員には慎重対応の企業も  
3/4 読売新聞

マスク着用ルールを緩和するか維持するか、企業が揺れている。政府は、今月13日以降、着用は「個人の判断に委ねる」との方針を打ち出しており、企業の多くは、積極的に脱マスクを進めて消費回復に弾みを付けたいところだ。ただ、小売りや外食など客との接触が多い業態では、従業員の脱マスクには慎重な企業も残る。

消費活発 期待



高島屋日本橋店入り口にある、マスク着用を求める掲示。13日からは着用の判断を客に委ねる（3日、東京都中央区で）

コンビニ大手のセブン・イレブン・ジャパンは3日までに、全国約2万店の加盟店に対し、入店時に求めていたマスク着用を、13日からは客の判断に任せる方針を伝えた。ただし従業員には当面、着用を推奨する。ファミリーマートも同様の方針を明らかにした。

小売りでは高島屋と大丸松坂屋百貨店も13日から、従業員は着用するが、来店客には求めない。

外食業界では、日本マクドナルド、回転ずし大手のくら寿司が同様の方針。居酒屋チェーンの「鳥貴族」も、マスクなしの客の入店も認める方向で検討中だ。

見直しはレジャー、娯楽業界にも広がる。大阪市のテーマパーク「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」(USJ)や、カラオケ店「ビッグエコー」を展開する第一興商も13日から、着用を客の判断に任せる。

ゲームセンターなどが加盟する日本アミューズメント産業協会はガイドラインを改定し、

13日以降は「必ずしもマスクの着用を呼びかける必要はない」と明記し、従業員も原則として個人の判断に任せるという。担当者は「政府から“お墨付き”をもらい、ようやくルールを緩和できる」と歓迎する。

ニッセイ基礎研究所の井上智紀・主任研究員は、「マスクを外すことで気持ちも前向きになり、消費も活発になると予想される」と話す。ただ、トラブルへの懸念から、「小売りや外食では、従業員の着用がしばらく続くだろう」とみる。

原則不要

公共交通機関でも13日からマスクの着用が原則不要になり、着用が推奨されるのは、通勤ラッシュなど混雑した電車やバスの乗車時に限られる。

国内航空19社が加盟する定期航空協会は13日から、機内でのマスク着用を客個人の判断にゆだね、客室乗務員らも

個人判断となる。関西空港に拠点を置くピーチ・アビエーションは指針にのっとり、「コロナに敏感な乗客もいるので、当面はマスクが必要」(大手)との意見もあり、各社で対応

●13日以降のマスク着用ルールの主な事例	
セブン・イレブン・ジャパン、ファミリーマート	客の判断に委ねる。従業員には着用を推奨
高島屋、大丸松坂屋百貨店、USJ、日本マクドナルド	客の判断に委ねる。従業員は着用を継続
松竹	劇場内では着用を推奨
ピーチ・アビエーション	乗客や従業員の着用を個人の判断に委ねる
富士通	社内での2名以内の会話は着用を求めるが、同意があれば外すことも可能に
GMOインターネットグループ	2月から社内の全ての場所で着用は任意

が分かれる可能性もある。

全国の映画館などで作る全国興行生活衛生同業組合連合会は、客に着用を求める対応をやめる方向だ。一方で歌舞伎座などを運営する松竹は13日以降も、劇場内での着用を「推奨」とし、演目によっては飛沫ひまつ 拡散防止のため、着用を求める。

日本ホテル協会は13日から、マスク着用は「原則として個人の判断に委ねる」とする感染症対策の改訂指針に沿った運用を始めるが、「宿泊客同士の考え方の差もあり、対応に悩んでいる」（ホテル関係者）との声も出ている。

#### オフィスで

オフィスでの対応も、当面は分かれそうだ。IT大手のGMOインターネットグループは2月、アクリル板などの間仕切りを社内から撤去し、全ての場所で着用を任意とした。「マスクがあると表情や声が伝わりづらく、生産性が低下する」（熊谷正寿代表）のが理由で、社員のマスク着用率は現在、5割程度だという。

一方、東芝は「色々な意見があり、まとまっていない」としている。